

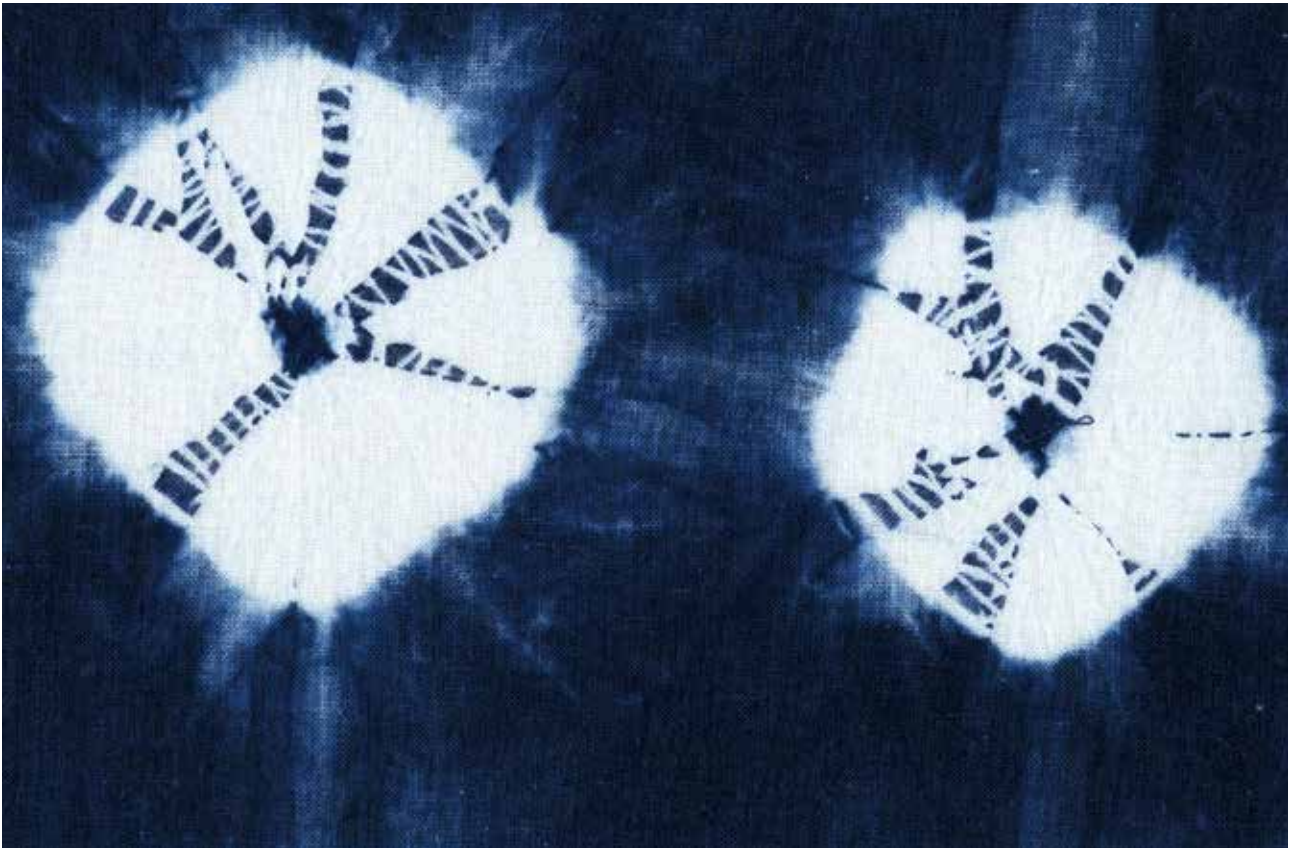


JAPAN HERITAGE

日本遺産

有松

NO.90 有松まちづくりの会



◇つまみ巻き上げ絞り

つまみ巻き上げのつまみとは、生地をつまむことを指します。あらかじめ図案の段階で生地をつまむ位置を決め、形は決めずに作業にはいります。

輪郭を平縫いするという工程はありません。

この技法は、水玉のように生地に柄をとばしたい時によく使われます。

解説：竹田 昌弘

有松の未来を描こう

有松まちづくりの会副会長 根尾文彦

この度、令和5年5月の総会にて、副会長を拝命しました。有松の住民ではない私が、この立場に就くことには多少の戸惑いもありましたが、少しでも有松の活性化にお役に立てるのであればと思います、お引き受けしました。私が、有松まちづくりの会の理事として深く関わるようになったのは平成30年からです。平成27年から桜花学園大学で教鞭をとるようになり、有松と大きく関わるようになったのがきっかけです。観光まちづくりを専門とする私にとって、400年の歴史と伝統産業の「絞り」を有する有松の町は絶好のフィールドワークの現場です。それまで、私は民間企業で35年間、観光に携わってきました。しかし、有松に関わるようになって、観光まちづくりの重要性に気づくこととなりました。かつての「まちづくり」は全国的にも建築的な

観点からのアプローチで、保存活動が中心でした。しかし、現在は保存と活用の二つの観点から対応することが求められるようになり、活用の観点で観光は大きな有意義性を持つようになりました。これからは、大幅な人口減少と超高齢社会における地域の活性化において、観光は大きな役割を担うことになるかと確信しています。また、私自身だけでなく、本学の多くの学生にとっても地域学修の貴重な有意義なフィールドです。町で開催される種々のイベントでのボランティア活動を通して、地域社会の方々と触れ合い、共同で作業を行うことで、社会人基礎力の形成に大いに役立つと感じています。さて、6年間にわたる関わりの中で、私なりに感じている「有松まちづくりの会」に対する考えと抱負を述べさせていただきます。

伝統的な地域にありがちな「閉鎖性」・「保守性」を強く感じます。日本で最初に町並み保存活動を始めた輝かしい実績などがあるにも関わらず、新しいことへの挑戦が少なく、守りの体制が強いと感じます。また、組織としての機能が有効的に作用していません。有松には多くの地域団体が存在し、その中心的な団体が当会であるのにも関わらず、組織体制が機能してらず、役割も明確になっていません。重要伝統的建造物群保存地区選定、日本遺産認定の大きな目標が達成された後の、当会の将来的な設計図を描くことが強く求められています。その課題に向けた活動をスタートすることから始めたいと考えています。また、経済的にも自立した組織になることも求められます。活動費を捻出するための収益事業を作り出すために法人化することも検討が必要であると思われまます。地域が一つにまとまり、行政とも手を携えて、「魅力あふれる有松」になるために、微力ながら自らが努めたいと考えています。

歴史まちづくりを切り開いてきた有松、

次の50年も先頭に

全国町並み保存連盟 理事長 福川 裕一

有松まちづくりの会、設立50周年おめでとうございます。有松まちづくりの会の誕生は、

1973年だったのですね。町並み保存連盟は1974年4月に「有松まちづくりの会」、「今井町を保存する会」、「妻籠を愛する会」の3つの住民団体が、有松に集まって結成されたということですから、連盟よりは少し年上ということになりますね。

私をはじめ有松にうかがったのは、1975年です。主にイギリスの町並み保存に焦点をあてた『コンサベーション序説』なる修士論文を書いたのち、博士課程へ進学し、いくつかの町並みを回ったときでした。有松では、先代の竹田嘉兵衛さんにお会いし、絞りのことなどともに、町並み保存については朝日の新聞記者が何か仕掛けているので任せてあるというようなお話をうかがいました。朝日の記者とは石川忠臣さんのことで、その言葉通り、1978年4月に第一回の全国町

並みゼミが、有松と足助を会場に開催されました。

記念講演で、超まじめな稲垣栄三先生が「町並み保存とは、なぜ、何を、どのように保存することなのか」と自問自答し、「未来をになう子どもたちのためだ」と断言されたことを鮮明に覚えています。その内容を取り込んだ「有松・足助宣言」の次の一節は、現在なお町並み保存運動の原点です。

歴史的町並みを中心とする歴史的環境の保存の問題は、いまや環境問題の焦点になってきたということである。それは地域の創造であり、町づくりである。さらにそれは、物的な整備にとどまるものではなく、新しい人間関係の確立であり、その中心は未来をになう子どもたちのためのすぐれた環境の創造である。

40年後の2017年11月、前年に重要伝統的建造物群保存地区へ選定されたばかりの有松で、二回目の全国町並みゼミが開催されました。「第40回全国町並みゼミ・名古屋有松大会」です。ここでも、有松は町並み運動の次の一步を描き出す役割を果たしました。掲げたスローガンは「町並みはわたしが守る…みんなのものから40年」。「町並みはみんなのものは、町並み運動をひとことで表すスローガンとして、結成以来使われてきたものです。それを「町並みはわたしが守る」と一步踏み込み、主体性を明確にした。

この時の「名古屋有松宣言」は、「私たちは、それぞれの立場から「町並みはわたしが守る」を実践し、以下に取り組むことを宣言する」として、次の10年へ向けての活動指針・5ヶ条を掲げました。全文は連盟のサイトでご覧いただくとして、私が特に着目したいのは、「歴史的な町並み地区を、地場産業、地域のライフスタイルなど、地域の誇りを産業にする場とし、経済社会の再生をはかる。」という一節です。確かな地場産業に根ざした町並みとして、次の半世紀も町並み運動を牽引してください。

有松回想

大高緑地公園の梅林には紅梅白梅が咲き乱れ、その中を走り回る子供達の歓声が春の空に響いています。桜の花を心待ちする素晴らしい季節です。

明治時代になって東海道線が開通し、お客様がほとんど通らなくなった有松の東海道を憂いて、愛知電気鉄道を神宮前より有松迄通そうと地元の皆様が多額の出資をされました。私の祖父六代目竹田嘉兵衛は地元出資者を代表して愛知電気鉄道の社外役員として鉄道の建設に奮闘いたしました。

その建設途上では、新聞には再三再四悪口を書かれたり、乗合馬車組合の殴り込みを受けたり大変な日々を過ごしたそうです。

地元の皆様もそれぞれに協力され、特に服部孫兵衛さんは終着駅となる有松駅の土地を無償で提供。大正6年、無事に愛知電気鉄道は開通しました。

開通後も祖父は愛知電気鉄道の経営を心配していたようで、亡くなった後、お墓の位置を少しずらして有松駅がよく見えるようにし祖父が、お客様がたくさん乗っていらっしやることを見ることで安心して眠れる様にしたいと聞いています。

八代目 竹田 嘉兵衛

私の有松散歩

有松は東海道沿いに家々が軒を並べる小さな町。18年ほど前、犬を飼い始めたのをきっかけに、街道沿いだけでなく有松のすみずみまで犬と共に散歩するようになった。車に乗ってはいえ気づかない、犬を連れていなければ通らないような小路が有松にはたくさんあった。いつしかそんな小路のいくつかに名前があることを知り、名称看板も7つ建てられた。それらを散歩の途中で立ち止まって眺めるうちに有松の知識も増えていった。

犬と一緒に歩いていると、観光で訪れた人に道を尋ねられることもよくあった。名称看板から得た知識も織り交ぜ、できるだけ丁寧に答えるよう心がけ、そんなふれあいも散歩の楽しみに加わった。

元氣だった犬もやがて年をとり、とうとう寝たきりとなって連れ立って歩くこともなくなつた。そして去年の春、桜の花が満開になる頃に静かに息を引き取った。

悲しみも徐々に癒えてきた頃、新たに出会った子犬とともに、久しぶりに散歩を再開することになった。しばらく訪れることのない小路たちは変わらずに私を待っていてくれた。

さて、今日も可愛い相棒と、亡き犬と巡った道を辿りながら有松散歩を愉しむでしょう。

中村 昭子

MADOってどんなところ？

MADOは2021年5月までゲストハウスとして営業し、お休みや改装を経て2023年5月より一棟貸し切りの「しほりの宿MADO」として生まれ変わりました。管理者も大島と共に有松ミチアカリを運営してきた山田が引き継いでおります。(大島のもとで山田が管理)

ゲストハウス時代は多くの旅人たちが集い、様々な情報や思い出、「とき」を共有する場にできたらと思いつながら営んでおりましたが、コロナの影響もあって旅人は減り、国境を越えて老若男女が集う場としては機能しなくなりました。そこで一日一組限定で、お客様が思い思いに有松を堪能してくださる拠点としてMADOを使ってもうえたらと考えたのです。昼間の時間は宿泊が絡まないで時間貸しも対応しています。旅行者だけでなく住民や他の店舗の方々にも多様な用途で活用いただけたら幸いです。MADO自身としてもその一つとして、有松ミチアカリがつくるコミュニティや空間の可能性を探求し続けていきます。

山田 拓



歴史と継続は人が作るもの

この度「有松まちづくりの会」機関紙『有松』が第90号発刊おめでとうございます。有松まちづくりの会が50年続いたからこそその成果であることは勿論ですが、続けられた事の意義が大切であると思います。地域の方々が思いを一つにして歩んでこそ達成することが出来たのではないのでしょうか。町並み保存地区指定から始まり、重要伝統的建造物群保存地区選定、そして日本遺産認定と有松まちづくりの会会員のたゆみない努力・思慮・行動があつてこそその現実です。関係者の皆様に敬意を表します。

歴史と継続は、人々の行動と選択によって形作られています。過去の出来事や文化、伝統は私たちが共有し、次世代に引き継いでいくものです。歴史は私たちの存在証明となり、未来に向けての指針となります。継続は、私たちが日々の生活で取る行動や決定によって築かれます。私たちの選択が、社会や世界全体の進化に影響を与えることを忘れずに、歴史と継続を大切にしましょう。

私たちNPO法人桶狭間古戦場保存会も有松まちづくりの会を見習い、歴史のある町づくりを目標として活動していきたいと思えます。

有松の町並み、桶狭間の戦い、この歴史資産を守り、活性化させ、名古屋市南部の地域発展、歴史観光推進に少しでも寄与出来るよう努力を継続し活動を継続したいと心に誓っております。有松・桶狭間の町づくりの会が協同すれば三倍の成果が得られるのは間違い無し、と思えます。これからもよろしくお願ひします。

NPO法人桶狭間古戦場保存会

理事長 梶野 泉

有松あないびとの会

私は、東町から中町まで歩いていく東海道の景色が大好きです。なぜなら、その景色は子供の頃、絞りを括っていた祖母に頼まれ、お使いに行つた時や中町の親戚の家に連れて行つてもらつた時に見ていたのです。当時は豆腐屋、菓子屋、銭湯、酒屋、呉服屋、米屋、医院などが並んでいて、とても楽しい空間でした。

大人になるにつれて、お店の種類は変わりましたが、町の雰囲気は変わらず、私達を見つめてくれています。そして、東町の山車庫を見ると、怖かった明治生まれの祖父を思い出します。祖父は、山車に乗り、横笛を吹いていたと父から聞きました。

私は、そんな有松で生まれ、有松で育ちました。2年前、仕事を退職し、東海道を歩いていると、有松あないびとの会の会長さんと久しぶりに出会い、「有松のご案内やってみませんか？」と誘っていただき、入ってみました。勉強してみると、まあ、難しい。もつと有松の歴史、絞り、山車の事を深く知りたくなりました。いつも会の先輩方に質問すると、丁寧に説明してくださり、とても親切で感謝しています。

今は、店主の方のご苦勞されたお話を伺ったり、個性豊かな有松絞りや名物お菓子の紹介などをご案内したいと思っています。

鈴木 照美

有松と共に

私は、令和5年10月1日に名古屋有松郵便に局長として着任いたしました。約15年前の24歳の時に、初めて有松を訪れた際、町並みの美しさや、「歴史と文化」というものを肌で感じたときの感動は、今でも覚えています。そんな印象を持ったこの有松で郵便局長として務められることを、心から嬉しく思います。名古屋有松郵便局は、明治29年から続く歴史ある郵便局であり、有松の歴史と共に歩んできたものの一つです。前任の加藤局長が大切にされていた「地域の方のために」「地域に愛される郵便局であること」をしつかりと受け継いで行きたいと考えています。また、「誰もが気軽に立ち寄れる郵便局」でありたいとも考えておりますので、ご友人やお知り合いの方々とのコミュニケーションの場としてもご利用いただければ幸いです。地域の方々の生活をサポートし、地域の発展のために郵便局にできる事で微力ながらではありますが、ここに

有松のために貢献していきたいと考えておりますので、今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

立川 弘樹



ハンザキ吟行句会

令和五年三月三十一日

絆纏を軽く着流す初さくら 石火

街道を貫きゆけり初燕 美智子

うらうらと梶の家並歩きけり 美登里

鳥曇り暗渠に落つる水の音 はる子

紅椿賽銭入るる竹の筒 真子

そこここにグループで来て春の旅 たか子

鳥雲に白壁落ちし二層蔵 更紗

語部の声に振りむく彼岸かな 千雪

春灯し皴手に絞るくくり台 乾宏

廃屋の樋の草萌ゆ坂の上 やす子

マンションの犬吠え立つる花ぐもり 良子

石柱に残る橋の名蜥蜴出づ 篤子

塗籠の絞問屋の猫柳 今日子

漆喰のはげ落ちてをり花ぐもり 恵美

看板に屋根をしつらふさくらかな こうこ

漆喰の剥れし土蔵冴返る 澄子

花の窓紋りをくくるみすや針 ちづる

俳句雑誌 ハンザキ (主宰 橋本石火)

❖ 晩秋の有松・有松ミチアカリ 2023. 10. 28・29



❖ 春のありまつさんぼ道 福よせ雛と町歩き 2024. 2. 23~3. 24



❖ KITTE名古屋から有松あないびとの会へ寄贈の反物展示 2024. 3. 1~4. 30



名古屋有松郵便局



岡家住宅



岡家住宅

町並みの新しい仲間

◆ Cafe178 BRUN'z

通称名ロジロジBzと申します。

当店は2023年11月11日に駅前踏切の南に「ultra soul」でオープンいたしました。人気バンドアーティスト「Bz」をコンセプトにしたカフェです。

基本的にはごく一般の「駅のそばの喫茶店」でございます。

店内はBzで溢れ、Bzに囲まれてゆったりな「TIME」でおくつろぎいただけます。

9時から11時30分モーニングサービス・お食事はパスタのみです（5種類）。各種ドリンク、アルコール、ケーキ、パフェ、フルーツサンドなど

コールドドリンクはライブ会場を思わせるカップを使用しており店内モニターに常時流



れる「Bz LIVE-GMY」を鑑賞いただきますからLIVEの気分を味わえます。またメニユー名もBzの曲などに因んだ「Magic」メニューです。ぜひ遊びにお越しください。

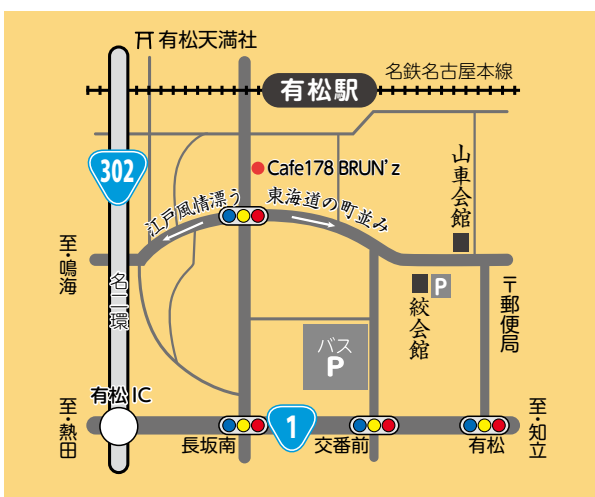
Instagram @cafe178.brunz

X (旧 Twitter) @cafe178brunz

住所 緑区有松二二〇二番地 (福岡ビル一階)

休業日 水（臨時休業日あります）

営業時間 9時～18時



街角ウォッチング ②⑤

東海道の夜景

最近はこちらで観光客数の回復というニュースを耳にしますが、有松も賑わいが戻ってきています。

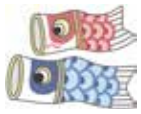
そんな11月の下旬、外国からのお客様を案内しました。「なるべく早めに有松へ着きませ」とのことでしたが、名古屋城などを見てからの有松で、到着は4時半になりました。有松の町は夕暮れが迫り寒空でした。私は急いで有松の歴史や井桁屋さんの説明を始めました。

ウダツやクロガネモチの大木を見上げた時、美しい月がありました。この日は思いがけず満月と金星を仰ぎ見ながらのご案内となりました。夕闇の東海道は街灯がともり、格子戸の部屋に明かりがついて、とても穏やかなしっとりとした情景でした。夜の東海道を歩いたことは何度もありますが、この夜は輝く月と街明かりが特別なものに感じられました。初冬の凜とした空気感のせいでしょうか。お客様も「いいね!」と言って何枚も写真を撮られました。「夜になってしまったけど来てよかった」と。

ご案内の後、お客様は「私たちはもう少し素敵な東海道をそぞろ歩きして帰ります」と言われ、「暗いので足元気を付けて」「ありがとう」と言葉を交わし別れました。

(浅野康子)

鯉活プロジェクト
有松絞り鯉のぼり展示
4月中旬～5月上旬



第40回 有松絞りまつり
◆6月1日(土)・2日(日)
「有松絞りまつり40回記念特別展示
～街並みに広がるアーカイブコレクション～」
「有松絞りまつり×名古屋グランパス
～世界に風をおこす SHIBORI フラッグ～」

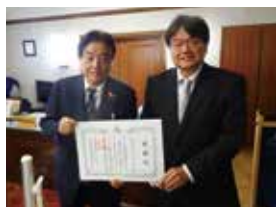


有松まちづくりの会 総会
◆日時 5月22日(水)13時30分より
◆場所 有松・鳴海絞会館

訃報

藤枝静次様
令和6年1月ご逝去
日本遺産有松の認定にご尽力いただき
ありがとうございました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

有松まちづくりの会
並びに服部豊顧問に
河村市長より感謝状



- ◆主な来訪者◆
(有松あないびとの会ご案内分)
- ・阿久比狂俳句 英比会
 - ・茅ヶ崎東光電気株式会社
 - ・中山道ふるさと散策の会
 - ・ワールド航空サービズ
 - ・美濃大野発見ガイド隊
 - ・JIA国際委員会
 - ・田原中部校区コミュニティ協議会
 - ・日タク観光バス
 - ・華白シニアクラブ
 - ・有度国際セミナー
 - ・名古屋やつかめ文化祭
 - ・有松小学校・桶狭間小学校・平子小学校
 - ・太子小学校・豊明市中央小学校
- ▶地域学習お出迎え
※少人数グループでのご案内を継続しています。



編集後記

発足51年を経て、次なる一步を模索している有松まちづくりの会。全国町並み保存連盟の福川理事長さんの言葉(3ページ)に、覚醒した思いでした。「みんなのもの」である有松の町並みを「わたしが、私たちが守る」のが有松魂。それをどう具体化するのか、広く皆で意見を出し合った「有松を語ろう会」(3月20日開催)を糧に、未来に向かって有松のまちを繋ぎに行きましょう。語ろう会の詳細は91号でお伝えします。(加藤明美)

企画編集

(加藤一成・福岡友一・伊藤総俊・山本文雄)

◆有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

〈有松まちづくり憲章〉

私達は、先人から受け継いだ有松のたからものを守り、次世代に届けるために、この憲章を定めます。
一、有松の町並み・絞り・山車を守り、誇ります。
一、人と人とのつながり、ぬくもりのある有松を創ります。
一、有松の歴史や物語を学び、遊び、伝えます。

有松まちづくりの会

二〇二四年三月三十一日発行 (年一回発行)
〒458-0924 名古屋市緑区有松三〇一二(有松商工会内)
TEL (052) 62110178
FAX (052) 62217401